

Smile Woman!
インタビュー⑩!この人の仕事のかたち
どこか輝いて見える「仕事」をしているあの人にズームアップ

乗馬の魅力

多くの人がたちへ



Yuka Takemoto

岡山市の東部、吉井川の河畔にほど近い郊外にある両備乗馬クラブクレイン岡山は、会員数760名を擁し、またサラブレッドやポニーなど60頭以上の馬をもつ県下最大級の乗馬クラブ。気軽に体験できるビギナー向けのコースから、本格的な競技会参加まで、またジエテ向けからニア向けまで豊富なコースを用意して、多くのニーズに応えている。竹元悠華さんは、同クラブのフロント・総務担当としてお客さまの受け付けや、会計事務などを担当し、また指導員のサポート役として調教もこなすなどマルチに活躍する女性。

●ビギナーの会員さまと同じ気持ちで

クレインに入社する以前は、馬と接した経験は皆無だったという竹元さん。「学生時代は水族館でアルバイトをしていたほど生き物が好きで、就職先を探していた時に偶然クレインに出会って、「こたーと飛び込んだんです」と笑う。しかしその一方で、「だから初めて乗馬に挑戦する会員さまに近い気持ちで接客応対をすることが、私の役割だと思っています」と話す。その言葉のとおり、竹元さんはビギナーの会員さまに対しては、自分自身が初めて馬に乗った時の不安・緊張感を重んじながら、またベテランの会員さまには、謙虚な気持ちでの応対を大切にしている。

●フロント業務の傍ら馬のお世話も

竹元さんは、フロントでの接客業務の傍ら、クラブ

両備乗馬クラブクレイン岡山
フロント・総務担当

竹元 悠華さん

www.umts-crane.com/map-okayama/

飼育する馬のお世話も担当。現在は、先輩指導員とともに牝の新馬を担当しており、馬場に出て会員さまに騎乗していただくための訓練を行なっているところだとう。「馬もそれぞれ性格があり、その馬に合わせた接し方、教え方がありますが、難しい反面、心を通わせ合えたと感じる瞬間は本当にうれいし、生き物をこよなく愛する彼女の優しさがうかがえる。

●乗馬に触れるきっかけの場として



両備乗馬クラブクレイン岡山では、初心者のための乗馬スクールのための乗馬スクールを常時開催している。「興味はあっても、始めるきっかけがつかぬ、何となく敷居が高そうとお考えの方も多いと思いますが、ぜひお気軽にチャレンジしていただきたいです」と竹元さんは話す。子どもには生き物との触れ合いの場として、また競馬ファンにはG1レース出走経歴をもつサラブレッドと間近に触れられる場として、またジエテ世代の余暇のたしなみなどとして、気軽に参加することが出来る。興味がある方は、同クラブ ☎086・297・6695へ必ずしも予約を。